

人材養成目的		国際学部の人材養成目的を以下の通りとする。 ・日本語とともに、国際言語としての英語をコミュニケーションツールとして、複雑化する国内外の諸問題を、グローバルな視点から把握・理解し、専門的知識やスキルを活用して問題解決を図るなど、国際社会に貢献することができる人材を養成する。(=課題解決力) ・日本語および英語を中心とする高い運用能力を身につけ、国内外の情勢や物事の見方・分析方法、問題の発見・課題解決方法などを幅広く理解するなど、グローバルな視野と国際感覚を備えた人材を養成する。(=課題解決力を支える言語力・ICT活用力) ・卒業後の進路は、英語をはじめとした言語スキルや「国際ビジネス分野」「国際開発学分野」「多文化マネジメント分野」での学びをベースに、国内企業はもとより、政府関係組織や国際非政府組織などの国際機関をはじめ、外資系企業や多国籍企業などで幅広く活躍する人材を養成する。(=キャリアで生かす多文化マネジメント力)									
ディプロマポリシー	0. 幅広い教養と豊かな人間性の醸成 職業生活や社会生活で必要となる汎用的技能や現代社会に関する幅広い知識と主体的な職能開発や自主的な学習態度を習得している。	1. 国際学のための基礎的・応用的な実践的能力 国際社会において生じる問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ主体的に導き出すことができる。	2. 国際学的なものの見方・捉え方の基礎 国際社会において求められる英語をはじめとした言語のスキルを基礎から応用までバランスよく習得し、グローバルな場面において積極的に英語で、ICTを活用しながら、相手とコミュニケーションを図ることができる。	3. 基礎を土台とした専門分野の発展的な知識 修得した分野別の専門的知識を国際社会の実際の場で応用的かつ実践的に用いることができる。	4. 関心領域と視野の拡大 海外体験を通して高い英語運用力を身に付け、同時に異文化の受容と自文化の理解を深めることができる。その上で、英米の歴史・文化、及び英語学の知識やICTスキルを獲得し、英語教育の現場等においてそれら応用的に活用することができる。						
科目区分(大分類)	共通教育科目	専門科目群		専門科目群				専門関連科目群	専門科目群		
科目区分(中分類)		専門演習科目	専門基礎科目	専門基礎科目	専門基礎科目		専門基礎科目	専門関連科目	留学・フィールドワーク科目	留学生科目	
4年次		WA11402 プロジェクト 4 WA11401 プロジェクト 3									
3年次 または 3年次以上		WA11302 プロジェクト 2 WA11301 プロジェクト 1	WA21301 English for Career Development 5	WA32306 国際・地域言語表現論 (特殊講義) WA32305 国際・地域交流論 (特殊講義) WA32304 国際・地域文化関係論 (特殊講義) WA32303 国際・地域言語表現論 (展開) WA32302 国際・地域交流論 (展開) WA32301 多文化マネジメント論	WA33306 グローバル言語特殊講義4 WA33305 グローバル言語特殊講義3 WA33304 グローバル言語特殊講義2 WA33303 グローバル言語特殊講義1 WA33301 国際開発学特殊講義2 WA33302 グローバルビジネス論特殊講義2						
2年次 または 2年次以上	【ファウンデーション科目群】 ■ 初年次科目 ■ 外国言語科目 ■ 体育科目 【リベラルアーツ・サイエンス科目群】 ■ リベラルアーツ・サイエンス系科目 ■ 人文学系科目 ■ 社会科学系科目 ■ 自然科学系科目 【主体的学び科目群】 ■ キャリア形成系科目 ■ キャリア展開系科目 ※ 共通教育科目の科目・ナンバリング等は 共通教育科目カリキュラムマップ参照のこと	WA11202 Global Studies 4 WA11201 Global Studies 3	WA21204 Specialized Studies in English 2 WA21203 Specialized Studies in English 1 WA21202 English for Career Development 4 WA21201 English for Career Development 3	WA32210 国際・地域文化関係論 (展開) WA32209 グローバル論 WA32208 アメリカ歴史・文化講義 WA32207 イギリス歴史・文化講義 WA32206 米文学概論 WA32205 英文学概論 WA32204 英語学概論 2 WA32203 英語学概論 1 WA32202 英語学概論 2 WA32201 英語学概論 1	WA33202 国際開発学特殊講義 1 WA33201 国際開発学 4 WA33204 グローバルビジネス論特殊講義 1 WA33203 グローバルビジネス論 4		WA41301 (多文化マネジメント論)	WA42214 異文化交流 2 WA42213 異文化交流 1 WA42212 国際研究演習 2 WA42211 国際研究演習 1 WA42210 国際体験 5 WA42209 国際体験 4 WA42208 国際体験 3 WA42207 国際体験 2 WA42206 国際特別演習 WA42205 国際コミュニケーション論 WA42204 国際表現演習 WA42203 国際事情 WA42202 留学特別演習 3 WA42201 留学特別演習 4	WA43202 ビジネス日本語 2 WA43201 ビジネス日本語 1		
1年次 または 1年次以上		WA11102 Global Studies 2 WA11101 Global Studies 1	WA21104 English for Career Development 2 WA21103 English for Career Development 1 WA21102 English Communication 2 WA21101 English Communication 1				WA41104 (Technology Ethics & Digital Communication 2) WA41103 (Technology Ethics & Digital Communication 1) WA41102 (English Communication 2) WA41101 (English Communication 1)	WA42103 国際体験 1 WA42102 留学特別演習 2 WA42101 留学特別演習 1	WA43102 日本語演習 2 WA43101 日本語演習 1		
卒業要件 (※)	28 単位以上	・専門基礎科目群：専門基礎科目群は、掲げる科目の中から 20 単位以上を修得しなければならない。専門基礎科目群は、TOEIC の点数に応じて修得免除の特典が発生するため、学科事務室にて詳細を確認すること。 ・専門関連科目群：留学・フィールドワーク科目は 8 単位以上 (学部が指定した外国人留学生は 4 単位以上) を修得しなければならない。 ・専門演習科目群：専門演習科目群は、16 単位以上を修得しなければならない。		・フューチャー&イノベーションスタディーズ科目群：フューチャー&イノベーションスタディーズ科目群は、グローバルビジネス科目、国際開発学科目、グローバル言語科目の3つの科目群に区分され、全ての区分において、それぞれに掲げる専門基礎科目から 4 単位以上、同専門演習科目から 2 単位以上の合計 18 単位以上を修得しなければならない。 ・グローバルリベラルアーツ科目群：グローバルリベラルアーツ科目群は、専門基礎科目、専門演習科目、特殊講義科目、関連科目の 4 つに区分され、各区分から所定の単位数として専門基礎科目から 4 単位以上、専門演習科目から 4 単位以上、特殊講義科目から 8 単位以上、関連科目から 8 単位以上の合計 24 単位以上を修得しなければならない。				・英米の歴史・文化・文学、及び英語学・ICT の知識を通してグローバル社会に対する理解を深める。英語の教員免許取得に必要な科目を置く。		・留学・フィールドワーク科目は、原則として、学部が修得する学年次及び対象者、科目並びにクラスを指定する。	
カリキュラムポリシー	日本語と外国語によるコミュニケーション能力、読解的処理能力や情報リテラシー及び人と社会や自然との関わり方の理解、職能開発力を高めるための科目群を設ける。	1. 国際社会において生じる問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ主体的に導き出すことを目的とする科目を配置する。 2. 「Global Studies1・2」ではアカデミックリサーチ、ディスカッション、プレゼンテーション、ロジカルシンキングの方法を学び、それを実践する。「Global Studies3・4」では「国際ビジネス分野」「国際開発学分野」「多文化マネジメント分野」の3つの分野から各学期ごとに1つの分野を選択し、それぞれの分野の基礎を学ぶ。「プロジェクト1~4」で興味・関心のある専門分野について深く学びつつ、自分の興味や関心に基づいて課題を見つけて出し、その解決策を4年間の集大成として提案する。 3. 授業は、講義を中心に、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜、組み合わせて行う。 4. 学習成果の評価は、試験、レポート、授業参加度、ディスカッション、プレゼンテーション等により、学習目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。	1. 国際社会において求められる英語のスキルを基礎から応用までバランスよく修得することを目的とし、国際文化専攻はTOEIC600、グローバルスタディーズ専攻はTOEIC730の目標を達成できるための科目を配置する。 2. 「English Communication1・2」では、コミュニケーション、プレゼンテーション等の非認知能力の基礎を身に付け、「English for Career Development1~5」では、あらかじめ設定したTOEICスコアの達成を目指す。「Specialized Studies in English1~2」では、各教員の専門領域に関する知識を、英語で深める。 3. 授業は、講義を中心に、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜、組み合わせて行う。 4. 学習成果の評価は、試験、レポート、授業参加度、ディスカッション、プレゼンテーション等により、学習目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。	1. 国際社会に広がる文化的多様性の現状を本質的に理解する際に必須となる専門的知識を基礎から応用まで修得することを目的とする科目を配置する。 2. グローバルスタディーズ専攻は、「ビジネス」「国際開発学」「言語学」の3分野を学び、国際文化専攻は「異文化」「宗教」「ダイバーシティ」等を体系的・網羅的に学ぶ。 3. 授業は、講義を中心に、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜、組み合わせて行う。 4. 学習成果の評価は、試験、レポート、授業参加度、ディスカッション、プレゼンテーション等により、学習目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。			1. 英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知識やICTスキルを通して国際社会に対する理解を深め、英語の教員免許取得に必要な科目を配置する。 2. 英語教員を目指すことができる基礎力を身に付けるために、「異文化」「語学」「コミュニケーション」「英米の歴史と文化」「ICTスキル」を体系的、網羅的に学ぶ。 3. 授業は、講義を中心に、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜、組み合わせて行う。 4. 学習成果の評価は、試験、レポート、授業参加度、ディスカッション、プレゼンテーション等により、学習目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。	1. 海外体験を通して、英語 (外国人留学生の場合は日本語) を使用したコミュニケーション活動の実践、異文化理解・自文化理解を促すことを目的とする科目を配置する。 2. 海外体験を通して、「日常のコミュニケーション能力」「異文化理解・異文化体験」「非認知能力」「チャレンジ精神」「やり抜く力」等を身に付け、事前学習で、危機管理や国や民族の特性等について学ぶ。同時に、英語 (外国人留学生の場合は日本語) 運用能力を高める。 3. 授業は、講義を中心に、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜、組み合わせて行う。 4. 学習成果の評価は、試験、レポート、授業参加度、ディスカッション、プレゼンテーション等により、学習目標に即して多面的、包括的な方法で到達度を判定する。			
アドミッションポリシー	国際学部では、日本と世界を取り巻く国際社会のありかたについて多角的・多面的に考え、自ら問題点を見つけて出し、それを解決する方法を、日本語と英語で広く発信することができる高度国際人の養成を目指しています。 (1) 英語を習得して国際的に活躍したい者 (2) 世界が抱える諸問題を多角的・多面的に考えることのできる者 (3) 世界と日本の懸け橋になりたいと志し、行動することができる者 国際学部では、複数の学問分野をまたいで国際的な事象を深く研究します。特に、英語をツールとして、グローバル (Global+Local) な視点から、諸事象を主体的・分析的・批判的に考察し、その成果を他者と共有します。また、グローバルな場面で、適切な判断と具体的な行動を取るためのベースとなる知識やスキルを育成するとともに、国内外で多様な経験を積み上げます。そのためには、英語と日本語の言語運用能力のみならず、地理歴史、公民、数学、理科等の各科目の知識を持ち、それらの基本的な内容を理解していることが必要です。これらの力は、国際学部で学ぶためにぜひ身につけてもらいたい能力です。										

(※) 卒業要件単位数：124単位 (共通教育科目：28単位以上、学科学目：70単位以上、残り26単位は自由選択)